

for your dream—

進路通信

平成29年度第3号

平成29年6月14日

都立武蔵野北高等学校
進路部

ムサキタシツクという言葉を知っているだろうか。本校の卒業生が大学に入ってから、大学生活は楽しいものの、本校での生活がたまらなく懐かしくなり、本校を去ってしまったことを寂しく思う心情を表した言葉だ。

なぜ、そうなるのか。簡単に言えば、多くの卒業生が本校で勉強や部活・行事に精一杯取り組み、充実した生活を送ったからだ。大学生活は自由で楽しいが、高校時代のような充実感が少ないのだろう。

本校の進路実績は年々向上し、進学校としての評価もそれなりに高まっているが、学校生活の満足度という点でも高評価を得ていると思う。そして、こうした**学校生活への高い満足度が、本校への愛着や向上心につながり、進学実績にもいい影響を与えている**と考えられる。

5月から6月にかけて体育祭や合唱祭が続く、さらには部活や文化祭の準備等、忙しい日々が続くが、忙しいからこそ学校生活は充実したものになり、その満足感や「やりきった」という自信が学習意欲にもつながるので、行事や部活には精一杯取り組んでほしい。

とはいえ、そればかりに没頭しては、もちろんいけない。合唱祭も終わり、一段落ついた今は、また学習に目を向けなければならない。そこで、今回はこんな話から……。

MARCHを第1志望にするとMARCHには受かりにくいという嘘のような本当の話



これから進路について先生たちと話をする際、こんなことを言われるかもしれない。「MARCHに入りたいのならMARCHを第1志望にしない方がいいよ。早慶あたりを目指して頑張っていれば、仮に早慶は受からなくても、MARCHに受かる確率が高くなるから、できるだけ早慶上智を目指しなさい」と。

言われた君は「？」となるはずだ。そうして「MARCHに入りたいのなら、MARCHを目指して頑張るのだから、早慶を目指すより受かるはずじゃん」と思うだろう。しかし、それは違うのだ。理屈で説明してもわからないだろうから、実際のデータを見てみよう。昨年の3年生(36期)から抽出したものだ。

○私大最難関の早慶上理(早稲田・慶応・上智・東京理科)を目指した者、127名(実人数)
 その中でGMARCHに1校でも受かった者、99名(実人数) **合格率78%!**

○早慶上理や国公立を目指さずGMARCHを第1志望にした者、49名(実人数)。
 その中でGMARCHに1校でも受かった者、11名(実人数) **合格率22%!**

合格率78% VS 22%。つまり、早慶上理を目指した者のうち8割はGMARCHに受かり、GMARCHを第1志望にした者は2割しか受かっていない、ということだ。

なぜ、こうなるのか。一つは、早慶を狙わずGMARCHを第一志望にする層は成績に自信のない人が多いからだろうが、それだけではない。実際に早慶を目指した人を調べてみると、3年当初は成績がそれほどでもなかった人も多い。しかし、それでもあえて**最難関を目指すことで、早慶には届かないもののMARCHクラスには届く実力を身につけた**ということだ。

つまり、「早慶あたりを目指して頑張っていれば、仮に早慶は受からなくても、MARCHに受かる確率が高くなる」は本当であり、だからこそ**高い志望を持つ**と呼びかけているのだ。わかってもらえたらどうか。

何事にも志望を高く持つという姿勢は、今後の長い人生にも生きてくるので、ぜひみんなにも身につけてほしいと思う。



6/16からOBOGが進路室に控えています!

定期考査前や定期考査中は先輩たちが進路室に控えていて、各教科の質問や進路に関する相談を受け付けている。(知ってた?)せっかく先輩たちが来校しても、誰も来ないのでは先輩たちも張り合いがないので、ぜひ進路室を訪ねてほしい。

アドバイザー一覧

分野	氏名	大学名	部活動	日時	担当
人文				6/16 (金)	
社会				6/19 (月)	
				6/20 (火)	
経済	ホームページでは非公表とさせていただきます。			6/22 (木)	
				6/26 (月)	
教育				6/27 (火)	
理工				6/28 (水)	
				6/29 (木)	
				6/30 (金)	

勉強の仕方がわからない、進路について悩んでいる、〇〇大ってどんなところ? 何でもいいから質問してみよう。先輩たちは喜んで答えてくれるはずだ。

時間は17時~19時まで。
場所は2階の進路室



進路NEWS

3年対象に以下の説明会が実施されるので、必

ず出席すること。

東工・一橋・横国・海洋・農工説明会
首都・学芸・外語・千葉・筑波説明会

6/14(水)駿台
6/21(水)河合塾



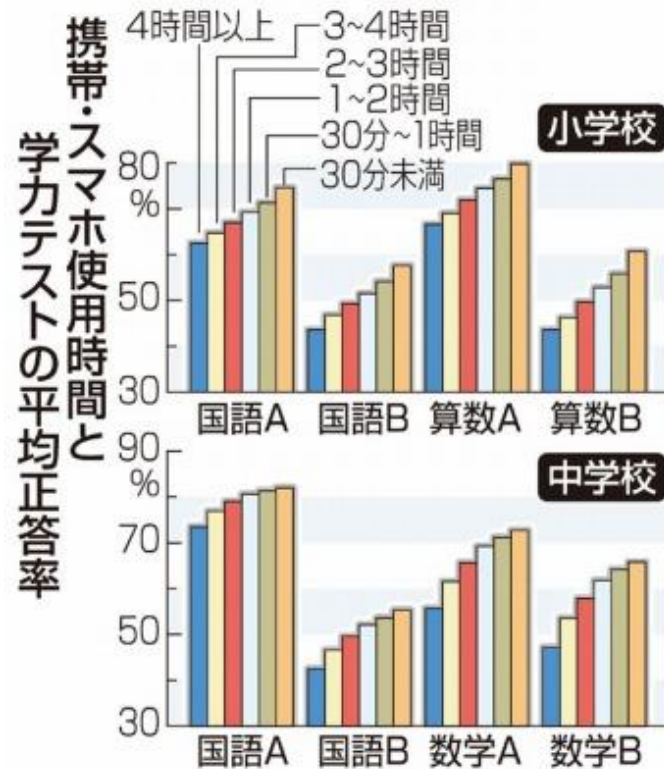
3年夏期講習の締切は6/17(土)!

<1年生>6/21(水)進路の手引き説明会 7/13(木)実力テスト

<2年生>7/13(木)実力テスト 7/14(金)大学模擬授業

スマホの使用時間が増えるに従って学力が下がる

というのは様々な調査で明らかになっている。<http://kurashinomemo.com/98>より引用するので、参考にしてほしい。



文部科学省が学力テストと併せて行う児童生徒へのアンケート調査結果によると、今回初めてスマホなどの平日の使用時間を尋ね、生活のかなりの時間を割いている実態が浮き彫りになりました。中学3年生の半数近くが1日1時間以上携帯電話やスマートフォンでメールやネットをし、4時間以上費やす生徒も1割を超えています。小学6年生の半数以上が携帯やスマホを使用していることも判明。

学力テストの平均正答率と比較すると、小中全教科で、使用時間が増えるほど成績が低下する「スマホ学力低下現象」傾向が見られました。

出典 一般社団法人 全国教育問題協議会 2014年8月26日

<http://www.zenkyokyo.net/survey/313>

閑話休題

プラスαの魔法

もしも、君が男の子だとして、友人の女の子にハンカチを貸したとする。彼女はハンカチを洗濯して返し

てくれるが、それは誰でもすることなので、「まあ、そんなものだろう」と思って何も感じないはずだ。ところが、ハンカチがきれいな包装紙に包まれていたらどうだろうか。あるいは、包装の中に、丁寧な文面でお礼の手紙が入っていたらどうだろう。

それだけで彼女への評価はぐっと上がり、もしかして、彼女を好きになったりするかもしれない。

これが「プラスアルファの魔法」という普遍的な成功哲学だ。

具体例をもう一つ（これは本当の話）

A先生は都立高校の非常勤講師をしながら何度も教員採用試験を受けていたが、なかなか受からなかった。

A先生は指導熱心で、わからない生徒には放課後残して丁寧に教えていた。そんな姿を見た同じ教科のB先生は、A先生が受からないことを残念に思い、個人的に面接指導や教科指導を行った。

結果、A先生は見事に合格し、今では都立高校の教員として教壇に立っている。

もうわかったらどうか。「ハンカチのお礼状」と「A先生の居残り指導」が魔法を起こすプラスアルファなのだ。

人は他者に対して常に「だいたいこんなことをするだろう」と予測を立てている。ハンカチを貸せば洗って返すだろうと思うし、教員志望の講師ならば熱心に授業をするだろうと思っている。だから、ハンカチを洗って返しても、熱心に授業をしても「まあ、そんなものだろう」と思われるだけで、人の心を動かすことはない。しかし、いい意味で予測を上回った場合はどうだろうか。「おっ、こいつやるな!」と思われ、ぐっと評価を上げることができるのだ。これが「プラスアルファの魔法」だ。

人には3つのタイプがある。

①言われたことしかしない人 ②言われたこともできない人 そして③言われたこと以上のことをする人。どのタイプに将来性があるかは明らかだろう。

与えられた以上のことをする人はどの社会でも求められ、より高度な地位が与えられる。金銭だけではなく、達成感や充実感といった精神的な充足を得ることができる。つまり、他者よりも多くの幸福をつかむことができるのだ。

だから、みんなも無理をしない範囲で（また見返りを求めることなく）プラスアルファの行為を実践してみよう。きっと、いいことがと起きるはずだ!



あなたは求められる以上の仕事をしていますか?
**ほんの少しのプラスアルファの努力をした人は、
大きな果実を手にすることができる**